



## 平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 リンガーハット

コード番号 8200 URL <http://www.ringerhut.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋本 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部兼品質保証チーム担当 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	32,423	6.4	2,317	14.7	2,223	17.6	1,462	55.4
28年2月期第3四半期	30,466	9.0	2,020	54.2	1,891	47.4	941	107.3

(注) 包括利益 29年2月期第3四半期 1,231百万円 (26.1%) 28年2月期第3四半期 976百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	68.81	—
28年2月期第3四半期	43.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
29年2月期第3四半期	31,154	—	17,704	—	56.8	727.49
28年2月期	25,828	—	11,169	—	43.2	522.79

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 17,704百万円 28年2月期 11,169百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	9.00	—	8.00	17.00
29年2月期	—	9.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	8.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	3.3	3,100	9.4	3,000	11.9	1,400	10.1	64.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期3Q	25,547,972 株	28年2月期	22,067,972 株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	1,211,543 株	28年2月期	702,057 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期3Q	21,258,818 株	28年2月期3Q	21,850,975 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、【添付書類】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
(2)本資料のサマリー情報、【添付書類】2ページ「経営成績に関する説明」及び9ページ「セグメント情報」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済及び金融政策を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、不安定な世界経済の影響により、株価や為替の変動が大きくなるなど、依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、消費者の節約志向により個人消費が伸び悩むなかで、ライフスタイルの変化などによる食の多様化が進み、業種を越えた競争は激化しております。

このような状況の中、当社グループは野菜の国産化をはじめとした「食の安全・安心」に取り組み続け、『全員参加で企業体質を改革しよう』をスローガンに、強固な企業体質作りに取り組みとともに、企業活動のスリム化及び効率化を進め、企業価値の向上に努めてまいりました。

国内の出店及び退店につきましては、「長崎ちゃんぽんリンガーハット」を高知県に初出店するなど48店舗を出店し、11店舗を退店いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は前連結会計年度末より37店舗増加し、国内737店舗、海外11店舗の計748店舗（内直営537店舗、F C 211店舗）となりました。

既存店の売上高につきましては、当社グループ全店舗の当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は101.9%と好調に推移いたしました。

以上の結果、平成28年4月に発生した「熊本地震」による影響もありましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は324億23百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は23億17百万円（同14.7%増）、経常利益は22億23百万円（同17.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億62百万円（同55.4%増）の大幅な増収増益となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### （長崎ちゃんぽん事業）

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」につきましては、平成28年3月より500円台メニューとして「まぜ辛めん」を販売開始、4月より紅白2種類の「冷やしちゃんぽん」を夏季限定販売いたしました。

8月には、安定確保が非常に困難なため野菜国産化移行時には見合わせていた国内自給率わずか3%という希少な「国産のさくらげ」を全店舗に導入いたしました。

さらに、10月には期間限定として2種類のスープ（愛知県の八丁味噌をブレンドした深い味わいのこく味噌スープ「黄金味噌(おうごんみそ)」と、アサリやカツオなど5種類のうまみが凝縮された特製魚介スープ「白銀魚介(はくぎんぎょかい)」から選べる、かき・いかなどの海の恵みがたっぷりの「海鮮ちゃんぽん」を販売開始いたしました。

また、お客さま満足度向上及び人材育成のために、調理認定制度とサービス認定制度の運用を強化し、QSCのレベルアップに取り組みました。

新規出店では、平成28年7月に当社初の「バル(Barのスペイン語読み)」スタイルの店舗を東京都港区の新橋駅前に出店するなど新しいニーズを探る新業態にもチャレンジしながら、国内のショッピングセンターを中心に46店舗を出店いたしました。

一方、不採算店舗の閉鎖やリロケーションにより10店舗を退店した結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で627店舗、海外で9店舗の計636店舗（うちフランチャイズ店舗193店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は102.6%となり、売上高は245億13百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は18億24百万円（同36.2%増）となりました。

#### （とんかつ事業）

「とんかつ濱かつ」につきましては、とんかつの美味しさと安全な食材へのこだわり、ごはん・味噌汁・キャベツが2種類から選べる食の楽しさ、そして「お客さまに楽しい食事のひとときを、心ゆくまで味わっていただきたい」という、おもてなしの心をお客さまに伝える施策に取り組んでまいりました。

販売施策では、より一層おいしく、安全・安心で高付加価値の商品づくりに努めるために、平成28年7月に一部商品の価格改定を実施する一方、8月からは毎月29日は濱かつの「肉の日」と定め、お客様への日頃の感謝を込めて人気商品「ロースかつ定食(100g・150g)」と「ヒレかつ定食(100g・150g)」の2商品を、通常価格の29%割引で販売するキャンペーンを開始いたしました。

さらに、10月より大粒の広島産牡蠣を使用したかきふらいメニュー3商品を期間限定で販売開始いたしました。

また、近年の中食志向の高まりを受けて、冷めにくいお持ち帰り容器の開発を行い、お弁当やオードブルなどのテイクアウト商品にも力を入れております。

当第3四半期連結累計期間末の店舗数は2店舗を出店し、1店舗を退店した結果、国内で110店舗（卓袱浜勝を含む）、海外で2店舗の計112店舗（うちフランチャイズ店舗18店舗）となりました。

事業の中核となる大型店舗の改造を積極的に進めた結果、当第3四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は99.9%となり、売上高は77億31百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は3億71百万円(同34.4%減)となりました。

(設備メンテナンス事業)

リンガーハット開発株式会社につきましては、当社グループ内直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全等が主な事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は13億74百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益は1億35百万円(同4.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ53億26百万円増加し311億54百万円となりました。これは主に新株式発行による預金の増加、積極的な出店に伴う建物及び構築物の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ12億8百万円減少し134億49百万円となりました。これは主に有利子負債の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ65億34百万円増加し177億4百万円となりました。これは新株式発行による資本金及び資本準備金の増加によるものであります。新株式発行の目的については、主力業態である「長崎ちゃんぽんリンガーハット」及び「とんかつ瀨かつ」における新規出店、既存店の改修、外販事業の強化を含む工場に係る設備投資資金並びに今後の積極的な海外展開のためのグループ会社への投融資資金及び借入金の返済資金を確保することで、当社グループの収益力の強化を目指すとともに、自己資本の充実により財務基盤の更なる強化を意図したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、平成28年4月7日に発表した前回予想から変更はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、平成29年2月期通期の業績予想数値を超過しておりますが、当社グループのさらなる収益力の強化のために、主力業態である「長崎ちゃんぽんリンガーハット」及び「とんかつ瀨かつ」の店舗の改修を積極的に進める予定であります。

店舗の改修等による平成29年2月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、判明し次第、速やかに適時開示を行ってまいります。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億43百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,711,400	6,604,398
売掛金	633,775	874,346
商品及び製品	62,069	53,884
仕掛品	22,152	30,949
原材料及び貯蔵品	245,794	273,436
前払費用	340,376	281,167
繰延税金資産	119,281	120,188
未収入金	550,946	849,126
その他	216,939	211,463
流動資産合計	3,902,734	9,298,962
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	8,642,846	9,382,432
機械装置及び運搬具(純額)	790,882	776,111
土地	4,804,693	4,820,693
リース資産(純額)	183,431	208,938
建設仮勘定	116,856	16,644
その他(純額)	777,021	794,527
有形固定資産合計	15,315,732	15,999,347
無形固定資産	384,994	399,254
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,719,252	746,999
退職給付に係る資産	62,273	68,177
差入保証金	1,052,500	1,080,782
建設協力金	84,898	131,156
敷金	2,468,699	2,553,851
繰延税金資産	520,462	617,457
その他	339,543	281,112
貸倒引当金	△22,605	△22,605
投資その他の資産合計	6,225,023	5,456,933
固定資産合計	21,925,750	21,855,535
資産合計	25,828,485	31,154,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	878,196	1,027,437
1年内償還予定の社債	256,000	236,000
短期借入金	2,290,000	1,030,000
1年内返済予定の長期借入金	1,428,459	1,294,998
リース債務	105,956	128,234
未払金	722,688	733,014
未払費用	932,546	1,247,527
未払法人税等	563,432	223,874
未払消費税等	311,916	229,905
株主優待引当金	67,338	58,082
店舗閉鎖損失引当金	—	10,686
販売促進引当金	6,356	—
資産除去債務	2,002	9,206
その他	296,942	408,556
流動負債合計	7,861,834	6,637,524
固定負債		
社債	1,232,000	996,000
長期借入金	2,293,370	2,377,506
長期未払金	428,715	427,866
リース債務	305,229	324,215
株式給付引当金	56,750	83,721
退職給付に係る負債	935,972	967,740
長期預り保証金	391,017	386,617
資産除去債務	1,129,767	1,205,962
その他	23,982	42,691
固定負債合計	6,796,805	6,812,320
負債合計	14,658,640	13,449,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,066,122	8,490,999
資本剰余金	4,486,942	7,911,819
利益剰余金	2,818,809	3,921,654
自己株式	△1,621,762	△2,807,787
株主資本合計	10,750,112	17,516,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	297,843	150,088
為替換算調整勘定	87,474	22,197
退職給付に係る調整累計額	34,415	15,681
その他の包括利益累計額合計	419,732	187,967
純資産合計	11,169,845	17,704,653
負債純資産合計	25,828,485	31,154,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	29,413,915	31,484,361
売上原価	9,627,516	10,246,271
売上総利益	19,786,398	21,238,089
その他の営業収入	1,052,213	939,592
営業総利益	20,838,612	22,177,682
販売費及び一般管理費	18,818,492	19,860,094
営業利益	2,020,120	2,317,587
営業外収益		
受取利息	4,013	3,590
受取配当金	11,045	13,936
その他	19,969	37,699
営業外収益合計	35,027	55,226
営業外費用		
支払利息	53,788	47,775
持分法による投資損失	6,037	11,124
社債発行費	33,858	—
為替差損	17,813	5,087
株式交付費	—	37,481
その他	52,531	47,383
営業外費用合計	164,029	148,852
経常利益	1,891,118	2,223,961
特別利益		
固定資産売却益	13	—
投資有価証券売却益	—	201,123
収用補償金	27,831	21,166
その他	—	6,373
特別利益合計	27,844	228,663
特別損失		
固定資産売却損	352	—
固定資産除却損	53,176	3,112
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13,441	21,059
減損損失	130,646	150,837
災害による損失	—	25,792
特別損失合計	197,617	200,801
税金等調整前四半期純利益	1,721,346	2,251,822
法人税等	779,989	788,842
四半期純利益	941,356	1,462,980
親会社株主に帰属する四半期純利益	941,356	1,462,980



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	941,356	1,462,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,815	△147,754
為替換算調整勘定	△7,360	△53,370
退職給付に係る調整額	△416	△18,733
持分法適用会社に対する持分相当額	△360	△11,906
その他の包括利益合計	34,678	△231,765
四半期包括利益	976,035	1,231,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976,035	1,231,214
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

(株主資本の金額の著しい変動)

①平成28年7月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条に基づき、自己株式を取得することを決議し、第2四半期連結累計期間において、自己株式を1,189,237千円(511,500株)取得しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の残高は2,807,787千円となっております。

②平成28年11月21日付で公募増資による払込を受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ3,424,876千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が8,490,999千円、資本剰余金が7,911,819千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	22,742,519	7,591,383	132,226	30,466,129	—	30,466,129
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,183,097	1,183,097	△1,183,097	—
計	22,742,519	7,591,383	1,315,324	31,649,227	△1,183,097	30,466,129
セグメント利益	1,339,962	566,636	129,049	2,035,649	△15,528	2,020,120

(注) 1. セグメント利益の調整額△15,528千円には、セグメント間取引消去2,294千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17,823千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は56,457千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は48,831千円であります。

「設備メンテナンス」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において25,357千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高(注) 3						
外部顧客への売上高	24,513,257	7,731,208	179,488	32,423,954	—	32,423,954
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,194,757	1,194,757	△1,194,757	—
計	24,513,257	7,731,208	1,374,245	33,618,711	△1,194,757	32,423,954
セグメント利益	1,824,747	371,515	135,193	2,331,456	△13,868	2,317,587

(注) 1. セグメント利益の調整額△13,868千円には、セグメント間取引消去23,730千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△37,598千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は75,221千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は75,615千円であります。

## 5. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
平成29年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	20,789	8,028	28,818	7,195	1,325	8,521	506	395	38,241
連結累計 期間	店舗数 (店)	443	193	636	94	18	112	—	—	748
平成28年 2月期 第3四半期	売上高 (百万円)	19,115	7,806	26,922	7,004	1,323	8,328	470	367	36,088
連結累計 期間	店舗数 (店)	413	188	601	92	18	110	—	—	711
対前年比率	売上高	108.8%	102.8%	107.0%	102.7%	100.2%	102.3%	107.7%	107.8%	106.0%
	店舗数	107.3%	102.7%	105.8%	102.2%	100.0%	101.8%	—	—	105.2%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粋比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。